

平成29年度  
市民活動支援事業

成果報告書

## はじめに

「霧島市市民活動支援事業」は、「共生・協働のまちづくり」の一環として、市民活動団体が行う公益的・公共的な活動に対して経費の一部を補助することにより、市民活動を促進するものであり、これまでに延べ114団体、そして、平成29年度は9団体がこの制度を活用し、様々な活動に取り組まれた。

この「平成29年度霧島市市民活動支援事業成果報告書」は、事業の活動内容や成果等を広く知っていただくとともに、今後の市民活動の参考としていただくことにより、「共生・協働によるまちづくり」が本市全体に更に広がることを期待して取りまとめたものである。

### 〈 参 考 〉 平成29年度 霧島市市民活動支援事業応募・採択内訳

#### 【選考審査の結果】

区 分	応 募	採 択
団 体 数	11 団体	9 団体
N P O 法 人	5 団体	3 団体
その他の団体	6 団体	6 団体
事 業 数	11 事業	9 事業

※( )は平成29年度の事業実施団体数

#### 【分野別内訳】

分 野 別	応 募	採 択
保健・医療・福祉	2	2
まちづくり	3	3
学術・文化・芸術・スポーツ	1	1
環境保全	2	2
農山漁村振興	1	1
子どもの健全育成	2	0
合 計	11	9

※( )は平成29年度の事業実施団体数

# 目 次

(団 体 名)	(ページ)
1 特定非営利活動法人美しく豊かな錦江湾を守り育てる会	1～ 2
2 霧島商工会議所青年部	3～ 4
3 史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会	5～ 6
4 NPO法人 金剛寺招魂社保存会	7～ 8
5 岩戸蛭愛好会	9～10
6 キリシマツツジ保存会	11～12
7 特定非営利活動法人 ハッピーブリンデン	13～14
8 マタニティサポートカフェ鹿児島	15～16
9 きりしま成年後見サポーターの会	17～18

## ＜ 参 考 ＞ 各団体の補助額等について

目次 番号	事業名	事業費	補助額
1	海のこと、山のこと体験事業	383,075 円	226,000 円
2	ecoイルミネーション 2017	510,432 円	306,000 円
3	史跡・文化財・景観モデルロード事業	260,855 円	129,000 円
4	竹灯籠祭り 2017' 史跡金剛寺／竹花火	944,500 円	450,000 円
5	岩戸癒の郷	50,440 円	30,000 円
6	キリシマツツジ保存事業	444,916 円	266,000 円
7	「歌のバリアフリーコンサート」	556,139 円	331,000 円
8	霧島市での産前産後の過ごし方パーフェクトガイド事業	401,111 円	209,000 円
9	成年後見等の知識を持ち、地域の見守りの要となる人材の養成事業	879,000 円	500,000 円
合 計		4,430,468 円	2,447,000 円



# 海のこと、山のこと体験事業

<美しく豊かな錦江湾を守り育てる会>

事業費：383,075円 市補助金：226,000円

## 目的（背景・課題）

錦江湾は、黒潮の流入や水深があることから、多種多様な魚類などが多く棲息する豊かな海である。

しかし、湾奥においては、生活排水等による汚染や溶存酸素の減少等により魚影が少なくなっている。

一方、この錦江湾内、及び錦江湾洋上からの景観は、世界に誇れるものである。

この景観観察を実際に体験してもらうことにより、この美しい錦江湾を次世代へつなげる郷土の宝物としてもっともっと守り育てていかなければならないという機運を醸成していく。

また、山や森が錦江湾を育てているということを理解してもらうとともに、山の恵みの一部にふれることで山への愛着を深めてもらう。

## 事業内容

- ・海から山を見てみよう事業
- ・山の恵みを知ろう事業
- ・錦江湾洋上パンフレット作成事業

## 事業の成果

海と山という全く異なったフィールドで数回の開催だったが全員がすべての活動に参加してくれたことが一番の成果だったと思う。

今回の体験活動をしたことで、児童たちがすぐに錦江湾を守り育てる活動をするというものでもない。

しかし、今回の体験で感動したことを、他の児童や家族などに話すことによって、錦江湾奥、そしてその水の源となっている山への関心が広まっていくのではないかと期待している。

また、これからの学校での活動や社会活動の中で、海のこと、山のことを学ぶ機会も多いだろうが、今回の活動の中で得た知識、経験を生かして、海と山を結びつけて考えることになるのではないかと思う。

## 自己評価

- 1 事業効果  
期待した効果が上がった。
- 2 改善すべき課題  
募集の対象を児童クラブとしたが、申込みのあった児童クラブは限られていた。いくつかの児童クラブに問い合わせたところ、ほとんどの児童クラブは年間行事を年度当初に決めるため、その後の行事の入れ込みは難しいとのこと。一般公募にするか現行のままとするか検討が必要。
- 3 予算執行  
多少の変更があった。  
執行の段階において、バス会社との契約や物品の購入等、できるだけ支出額を少なくするよう努めたため。
- 4 今後の展望  
次年度、次々年度はこの事業を一部変更したうえで実施したい。  
また、今年度作成したミニテキストを観光にも活かさないか検討していきたい。
- 5 その他  
特になし。



霧島連山を望む



# ecoイルミネーション2017

<霧島商工会議所青年部>

事業費：510,432円 市補助金：306,000円

## 目 的（背景・課題）

震災以降、資源のない日本の次世代エネルギーをどうするか、地域の実情や技術開発の難易度、安定した供給、安全面への対策など長期的な視野に立った活発な議論が日本各地で求められています。

本課題に対し自然エネルギー・再生資源とはどのような物なのか広く市民の皆様を紹介する場を”街なか”に設けると同時に、にぎわい創出に伴う観光客及び市民の満足度向上を目的とします。

## 事 業 内 容

点灯式の実施

日 時：平成29年12月16日（土）

場 所：霧島市民会館前広場

対象者：霧島市民

内 容：自然エネルギーと再生資源を使用したオブジェの展示と点灯するほか、各種ステージイベント及び飲食ブースなどを運営します。オブジェについては点灯式から一か月程度、常設点灯します。

## 事 業 の 成 果

太陽光発電等の自然エネルギーとペットボトルや廃材等の再生資源を活用したイルミネーションを霧島市民会館前広場に制作・点灯したことにより、自然エネルギーと再生資源の大切さを広く発信することができた。

各種広報では、ポスターの街路設置を実施。また各メディアへの青年部員の活発な行動等により効果的に広報を行うことができ、点灯式には約1,100名の来場者があった。

出展団体も前年度8団体から10団体に増え、6,500本を超えるペットボトルが回収できたことで、本事業の認知度が上がっていることを実感した。

商店街再訪を狙い、点灯式来場者へクーポンと市街地お店情報マップを配布し、商店街再訪の一助になったものと考えます。

## 自 己 評 価

### 1 事業効果

期待した効果が上がった。

### 2 改善すべき課題

環境を紹介するブースを設置したが、来場者の動線を考え、場所を再検討したい。

### 3 予算執行

大きな変更を余儀なくされた。

参加団体のキャンセルがあり、当初システムを増やす予定であったが、青年部の手持ちの分をやや拡大することで対応ができたため。

### 4 今後の展望

事業に関わる市民を増やしていきたい。

### 5 その他

本年度、手話サークルきりしまさんのオブジェ出展があった。手話や筆談を交えながら楽しく交流させていただきました。Ecoイルミネーション事業は自然エネルギーと再生資源の大切さを市民の皆様を感じていただくことを目的としていますが、障がいのある方々と一緒に事業に取り組み、そして通じ合える環境が作れたことは、青年部のモットーである「人づくり・街づくり」という根幹にもしっかりと繋がっていると実感できました。



### 団体情報

<団体名>霧島商工会議所青年部

<代表者>長里 紀亨

<設立日>平成9年4月1日

<会員数>50人

<主な活動>

霧島市国分地区にある事業所の経営者や後継者等から構成される当青年部は、各事業所の発展のために定期的に講習会や視察等を開催している。その他、県内に夏の訪れを告げる霧島国分夏まつり、ecoイルミネーション、城山公園にて桜まつり、霧島ふるさと祭での夢工房などを行っている。

<連絡先>

所在地 〒899-4332 霧島市国分中央3-44-36

TEL 0995-45-0313

# 史跡・文化財・景観モデルロード事業

＜史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会＞

事業費：260,855円 市補助金：129,000円

## 目的（背景・課題）

- ①古代から地域に残る史跡・文化財を保護して、その景観を次世代に伝える。
- ②貴重な文化財などの広報及び見学会を開催することにより広域から人が集まり、地域の活性化の一助とする。
- ③霧島山麓の豊かな自然の美しい景観、史跡文化財などをアピールすることで、新たな観光資源を創造する。

## 事業内容

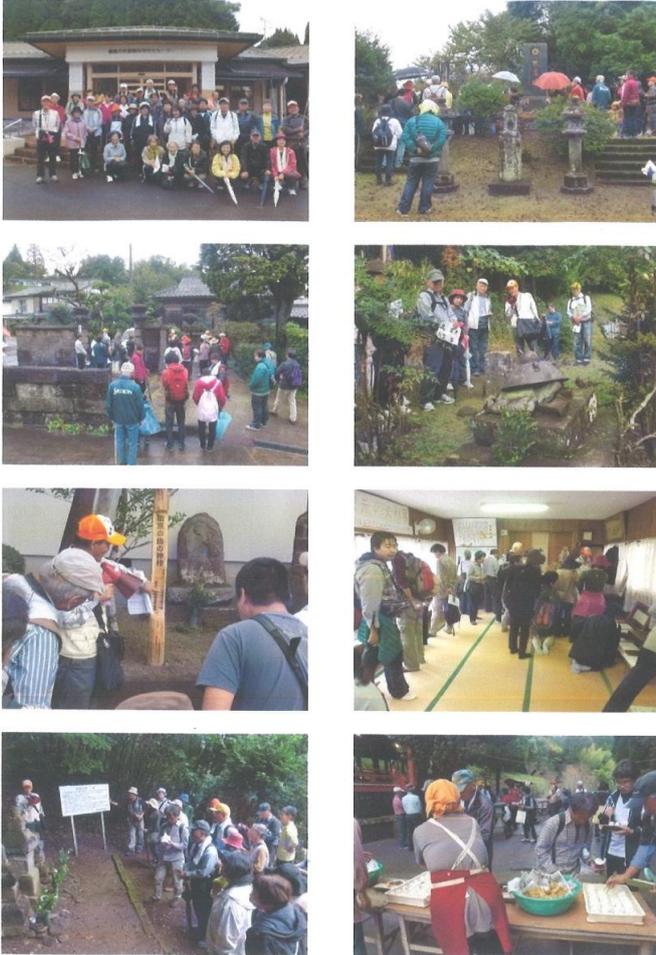
- ①史跡・文化財の広報・見学会
- ②道路の清掃
- ③文化財の清掃
- ④史跡及びその周辺の伐採整備

## 事業の成果

- ①JR駅舎掲示板に見学会（きりしま歴史散歩）のチラシを常時掲示することにより、駅利用者に地域の文化財を周知することができた。
- ②史跡・文化財の見学会を開催することにより、広域から人が集まり、地域の活性化を推進することができた。
- ③史跡・文化財の保護活動及び清掃活動を子ども達と行うことにより、情操の発達が期待できた。
- ④共同作業をすることで、会員の親睦が深まり、地域住民の新たな連帯意識を創造することができる。

## 自己評価

- 1 事業効果  
期待していた以上の効果が上がった。
- 2 改善すべき課題  
なかった。
- 3 予算執行  
多少の変更があった。  
過去2年間の活動記録を印刷して冊子にし、見学会等で販売する予定であったが、補助事業3年間終了後の冊子作製としたため、印刷製本費がプリンター印刷用品（消耗品費）となった。  
また、事業終盤の1月に小磯城跡の山頂で石材の発見があり、教育委員会等の専門家に現地視察を依頼したが、年度末の繁忙期で実現しなかったため、3月に発掘記録作業となり、作業に必要な経費の支払が遅くなった。
- 4 今後の展望  
明治維新150年やNHK大河ドラマ「西郷どん」の放映で鹿児島県の歴史が注目されていることに鑑み、地元に残る西南戦争等の史跡発掘、調査、史資料の作成、見学会の開催等の取り組みを通して、地元も明治維新に深く関与していたことを紹介していきたい。
- 5 その他  
特になし。



史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会  
～私たちは「ふるさとみがき」をしています～



山に入り、史跡の調査をする  
手嶋正次会長（左）ら  
霧島市牧園町三休堂  
霧島市牧園の住民らでつくる史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会（15人）は、地元の歴史遺産に光を当てて「ふるさとみがき」に取り組んでいる。調査や見学会、花木を植える景観維持などを始めて約4年。手嶋

牧園の史

史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会

埋もれた遺産に光

正次会長（89）は「元来、争の歴史を探っていて目を向け、価値を見直すきっかけになれば」と力を込める。  
霧島市牧園町三休堂。草が生い茂った山林に足を踏み入れると、曲輪や空堀、土塁などみられる「山城の痕跡」が確認された。手嶋会長が2017年11月、西南戦争。調査を続ける予定とい

委員会は年数回の地道な活動を重ねてきた。17年2月には第3版となる冊子「牧園の史跡と文化財」を発行。旧牧園町の宿窪田や三休堂、安楽温泉などにある48項目を解説している。事務局長の川越誠さん（65）は「過疎高齢化が進むが、やがて地方の時代が来るはず。若い世代も巻き込み、ふるさとの宝を形に残し続けたい」と話す。  
（山下翔吾）

団体情報

- <団体名> 史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会
- <代表者> 手嶋 正次
- <設立日> 平成26年2月27日
- <会員数> 16人
- <主な活動>  
史跡・文化財の見学会、景観モデルロード沿道や空き地の美化活動など
- <連絡先>  
所在地 〒899-6507 霧島市牧園町宿窪田642番地4  
TEL 0995-45-0313

# 竹灯籠祭り 2017' 史跡金剛寺／竹花火

<NPO法人 金剛寺招魂社保存会>

事業費：944,500円 市補助金：450,000円

## 目的（背景・課題）

NPO金剛寺招魂社保存会は歴史をさかのぼると明治12年に西南戦争で若くして戦場の露と消えた139柱の御霊を慰めるため招魂社がおかれ、生還者や遺族により塚を建立し、永遠にお祀りするようになったが、年月の経過とともに遺族や地域の有志に見守りされてきました。

そして保存会も中間法人、一般社団法人、NPO法人と形を変え、金剛寺敷地内の戦争慰霊碑や文化財も含めて管理をしています。

しかし保存会も高齢化が進み若い世代の参加が必要であり、忘れられた史跡とならないように地域で見守りするためにも、参加型の情報発信の一つとして灯籠祭りを開催します。

## 事業内容

1「竹灯籠祭り 2017' 史跡金剛寺/竹花火」の開催

2,500本の竹灯籠 500個のペット灯籠  
LED照明灯籠・つり灯籠など1,000個  
同時イベントの開催 竹灯籠の販売

2「竹灯籠作り体験教室」の開催

親子・一般を対象に竹灯籠作り、  
ペット灯籠作り  
作品は祭りに並べる

## 事業の成果

まちづくりの推進

今年は昨年の実行委員会6団体に加え、新たに3団体に参加をいただき、市民の和が広がった。また、国分地区ふるさと祭りに竹灯籠を設置してPRを図った。

環境保全の活動

史跡金剛寺は招魂社が置かれて以来、地域有志等により管理されているが、竹灯籠祭り支援者による施設補修、敷地清掃、石碑補修などを行った。

観光の振興

竹灯籠祭りのPRを兼ねて、各種イベントに竹灯籠を設置し、訪れた人に楽しんでもらった。

子どもの健全育成

竹灯籠作りに親子17名の参加があり、親子で協力し、作成していた。

## 自己評価

1 事業効果

あまり上がらなかった。

天気の影響で、1,000人見込んでいた来場者が、約半数となった。

2 改善すべき課題

2年連続雨天の祭りとなり、時期をずらすことを検討したい。

3 予算執行

多少の変更があった。

雨天による舞台イベントの一部中止や、雨対策としての電球照明の増加による予算の変更があった。

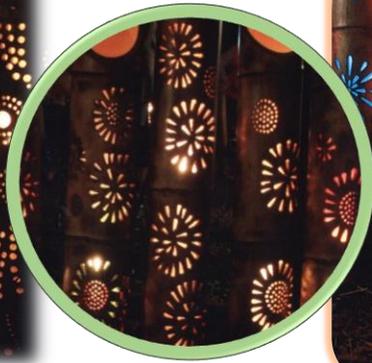
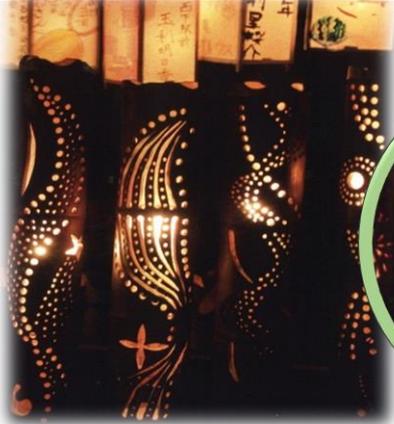
4 今後の展望

引き続き実行委員組織の強化(支援者の拡大)をして、他のイベントなどとの共演を検討していきたい。

5 その他

特になし。





## 竹燈籠祭り 2017'

第3回 史跡金剛寺／竹燈籠祭りは次の日程で開催されます。是非ご覧ください。

10月14日(土) 16:00～21:00

10月15日(日) 16:30～21:00

**会場 金剛寺跡地**  
国分城山公園登り口・目印は赤い鳥居です



**主催者** 竹燈籠祭り2017'実行委員会  
国分東自治公民館／国分西自治公民館／国分地区  
連誼会／東中劇年会／西上シニア会  
NPO金剛寺招魂社保存会／地域女性支援グループ／  
竹燈籠祭りボランティアグループ／  
第一工業大学学生ボランティアグループ

**支援者** 霧島市・霧島市教育委員会



### 団体情報

<団体名> NPO法人 金剛寺招魂社保存会

<代表者> 肥後 敏男

<設立日> 平成24年12月28日

<会員数> 50人

<主な活動>

金剛寺招魂碑及び眞応上人廊の保全に関する事業

青少年健全育成に関する事業

六月灯等の祭典の開催

<連絡先>

所在地 〒899-4332 霧島市国分中央一丁目24-24

TEL 0995-45-8318

# 岩戸癒の郷

<岩戸蛍愛好会>

事業費：50,440円 市補助金：30,000円

## 目的（背景・課題）

岩戸自治会も高齢化が進む中、互いに助け合い協力、互いの交流を図り、若年層、幼児、小・中学生との親睦を図り、地域の活性化に取り組む。

## 事業内容

地域住民との交流、環境保全、幼児、小・中学生の健全育成、情操教育を兼ね、蛍の幼虫の育成に必要な環境整備を行う。

- ・カワニナの採取
- ・セメントブロック積み
- ・セメント塗装 など

## 事業の成果

親蛍の捕獲等は順調に行えたが、水路等、新規池、水源地を見つけるのに苦労した。

ただし、地域の子どもたちの情操教育、健全育成に役立つと思っており、今年5月中旬の蛍の乱舞を期待している。

## 自己評価

### 1 事業効果

期待した効果が上がった。

### 2 改善すべき課題

事業を始めて1年目のため、会員皆と一緒に作業等を行うことができず苦労した。

### 3 予算執行

大きな変更を余儀なくされた。

事業初年度のため、地域、公民館等とのコミュニケーション等があまりとられず、賛助金、寄付金等が得られず苦労した。

### 4 今後の展望

平成30年度は2年目に入りますが、会員との打ち合わせ等を密にして、進めていく予定です。

### 5 その他

地域の住民等との仲間づくりに意欲を持ち続けていく予定で、また、子どもたちの情操教育には力を入れていける予定です。

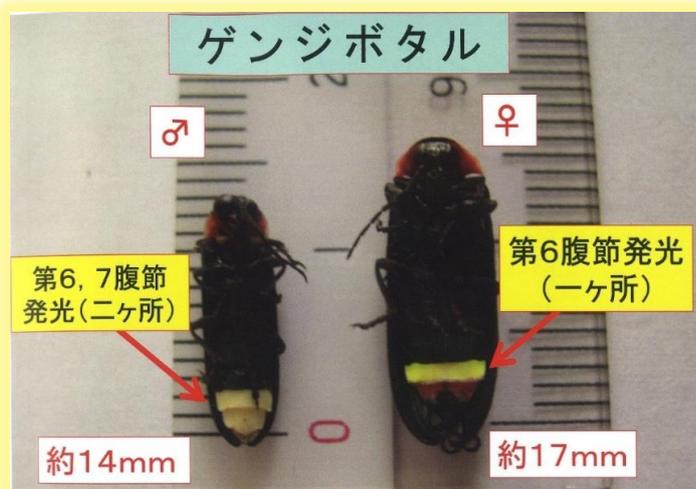
熊野神社、馬頭観音様の環境整備にも力を注いでいきたい。



ゲンジボタルの幼虫



幼虫のエサとなるカワニナ



### 団体情報

<団体名> 岩戸蛍愛好会  
 <代表者> 後藤 良章  
 <設立日> 平成28年10月25日  
 <会員数> 12人  
 <主な活動>  
 地域内の盆、正月前の一斉作業への参加。  
 常時、地域内の防犯や清掃作業等を行っている。  
 <連絡先>  
 所在地 〒899-4301 霧島市国分重久145-2  
 TEL 0995-45-5505

# キシマツツジ保存事業

＜キシマツツジ保存会＞

事業費：444,916円 市補助金：266,000円

## 目的（背景・課題）

明治のころの霧島連山には、山を覆い尽くすほどのキシマツツジが群生していたそうであるが、今は全く見られない。

しかし、霧島連山から持ち出されたツツジがほかの地では何百年も成育し続け、大切に守り育てられています。

どうしてこうなったのか、歴史的背景も踏まえ、我々はキシマツツジの本家として、その再生の活動を起こさなければならない。

そのため、この事業で、古木の調査・保存と、これからの増殖・啓蒙活動を行うことを主な目的とする。

## 事業内容

- ・キシマツツジの古木の調査・保存活動
  - ・キシマツツジの増殖・普及活動
  - ・その他希少植物の調査・保存活動
  - ・外来植物・生物の調査
- （いずれも日時は適宜、場所は霧島市全域）

## 事業の成果

・鹿児島神宮や鹿児島医師会医療センター、西郷の館など、多くの人の目に付く場所に植栽できたので、絶滅が危惧されているキシマツツジの認知度を高めることができた。

・地域に現存するキシマツツジを数株確認することができた。（霧島市妙見付近、表木山付近など）

それがキシマツツジとは知らない持ち主がほとんどで、説明すると感動され、今後大切に手入れを行い保存していく契機となっている。

・挿し木用の母株を導入できたので、今後挿し木による増殖活動が可能となった。

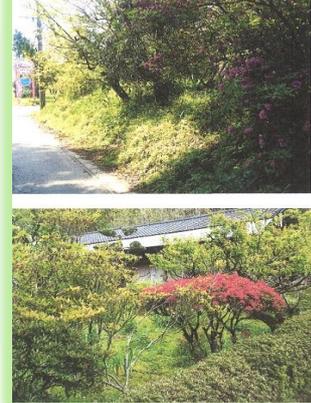
## 自己評価

- 1 事業効果  
期待していた以上の効果が上がった。
- 2 改善すべき課題  
なかった。
- 3 予算執行  
多少の変更があった。
- 4 今後の展望  
3年間の活動で、空港や霧島神宮、鹿児島神宮、医師会医療センターなど多くの場所にキシマツツジを植栽でき、認知度を高めることができた。  
今後は増殖活動へ発展的につなげていきたい。
- 5 その他  
多くの市民にキシマツツジを広報することができた。





鹿児島神宮への植栽



古木調査



手籠川での環境調査

**団体情報**

<団体名>キリシマツツジ保存会  
 <代表者>蔵元 悟  
 <設立日>平成26年12月1日  
 <会員数>30人  
 <主な活動>  
 ・キリシマツツジの啓発と古木の保存活動  
 ・キリシマツツジの増殖・普及活動  
 ・その他希少植物の調査・保存活動  
 <連絡先>  
 所在地 〒899-4352 霧島市国分向花168-3  
 TEL 080-5260-8173

# 「歌のバリアフリーコンサート」

<特定非営利活動法人 ハッピーブリンデン>

事業費：556,139円 市補助金：331,000円

## 目的（背景・課題）

すべての人々が、障がいのある人とそのハンディキャップを認め、理解しあえる地域社会にはまだ至っていないのが現状ではないでしょうか。

このような現状を乗り越えて、障がいのある人もない人もお互いに思いやりを持って共生できる社会を目指すことは、地域社会の課題の一つであると考えます。

すべての子どもたちが同じ空間でコンサートを共に楽しむことにより、それぞれを認識して共生協働の社会の実現を目指します。

## 事業内容

開催場所

霧島市内の小学校

対象

小学校 全学年の児童及び先生  
(父兄を対象とするかは実施校と協議)

開催時期

実施校と協議して決定する

内容

簡単な手話指導を含む、AOB方式による「歌のバリアフリーコンサート」

## 事業の成果

手話つきのバリアフリーコンサートでしたが、皆さん楽しく参加して音楽を楽しみながら、手話に対する興味、また、障がいのある人への理解を進める効果があったと考えます。

特に、子どもたちが観て、聴いて、いろいろなことを感じて、無意識のうちに障害のある人もない人も、みんな同じなのだというところを感じてもらえたと考えます。

今後ともこの活動を続けて、手話への理解、共生協働の社会の実現へ向けた一助となればと考えます。

## 自己評価

### 1 事業効果

期待していた以上の効果が上がった。

### 2 改善すべき課題

コンサートのシナリオが基本的に小学生向けに作られている。幼児が対象の際に、ことば使いなどさらに分かりやすく改善したい。

### 3 予算執行

多少の変更があった。

当初の予定は、小学校2校の予定でしたが、実施は幼保3園となったので、規模、人数の変更による見直しを行い、多少の変更となった。

### 4 今後の展望

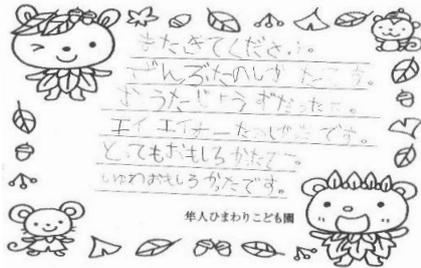
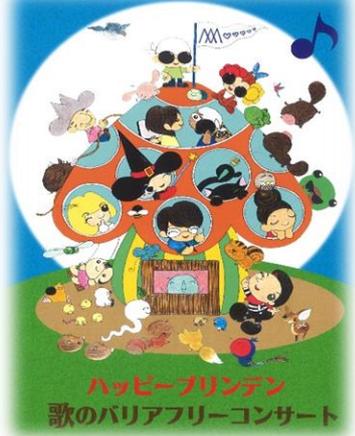
活動の基本的な考え方に間違いなことを更に確信した。今後とも色々な場所で公演を行いたいと考える。

### 5 その他

これまで100か所以上の様々な場所で公演したが、失敗の公演は一度もないと自負している。

一見子ども用のコンサートのように、赤ちゃんから大人まで、障がいのある人も、すべての人々に楽しんで、感動を伝えることができると思います。





## 歌が見える♪

歌を3つの要素“歌の気持ち”“歌のテンポ”“歌詞”に分けて、それぞれを手話やダンスなど、体の動きで表現します。



### 歌のきもち

耳に聞こえる人は、歌詞が無くてもメロディーを聞くと明るい気持ちになったり、悲しいような切ない気持ちに自然になります。その気持ちの動きを体を使ってパフォーマンスで表現します。



### テンポ

一曲の間、ほぼ同じ動きをして、その曲のテンポを表現します。耳の聞こえない方は、その動きを見て、歌のリズムをわかるようにしています。

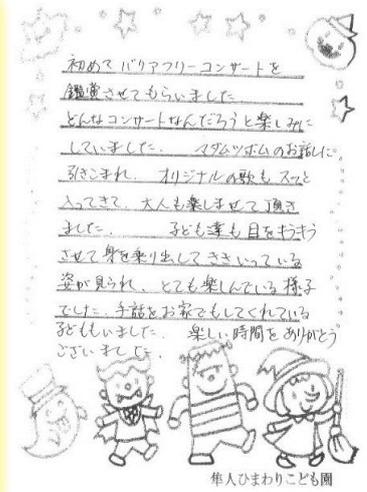


### 歌詞

歌の歌詞を手話で伝えます。歌詞を直訳した手話通訳ではなく、作詞家の詩に込められた想いや、伝えたい本当の意味を手話で表現します。



歌の要素を人の身体で表現し、歌を目に見える形にしたコンサートは世界で初めてのことです。Happy Brindleyはこのコンサートを2003年より行ってきました。これまでに、学校・ホール・野外など20000人の方が鑑賞して下さいます。



## 団体情報

<団体名> 特定非営利活動法人 ハッピー布林デン

<代表者> 畑 みどり

<設立日> 平成27年4月1日

<会員数> 160人

<主な活動>

AOB方式による「歌のバリアフリーコンサート」と、それに関連する事業を行い、耳の聞こえない人も聞こえる人も、すべての人が共生できる社会の実現に、音楽を通して寄与する活動を行っている。

小学校PTA親子の集い、サンエールかごしまでの自主公演など

<連絡先>

所在地 〒899-5112 霧島市隼人町松永1719

TEL 090-4475-6048

# 霧島市での産前産後の過ごし方パーフェクトガイド事業

＜マタニティサポートカフェ鹿児島＞

事業費：401,111円 市補助金：209,000円

## 目的（背景・課題）

少子高齢化対策として「切れ目ない子育て支援」に向けての官民の取り組みは活発化していますが、産前産後は継続した関わりが希薄になりがちな機関で、アンケートでも「産前産後1か月が一番不安であった」という声が50%を超えています。

霧島市では特に転入世帯や転勤族世帯が多い地域背景もあり、出産・子育てに関する環境づくりに加えて、妊産婦への早めの働きかけや地域資源への結びつけが大変重要であると考えます。

## 事業内容

①霧島市の産前産後乗り越えガイド（チャート）のデザイン作成

里帰りの有無や支援者の有無など、妊産婦本人の置かれた環境や周りの資源がわかるチャート図を作成します。（平成30年度に印刷）

②「実践！霧島市での産前産後乗り切り講座」の開始

チャートを参考に、妊産婦本人が産前産後をどのように過ごしていけばいいのかを学ぶことができる講座や、早期に仲間づくりができる交流会を開催。

助産師・保育士、そのほかの専門家や行政の担当者から、様々な実践知識や、ヒト・モノ・サービスについて学びます。

また、里帰り受け入れ先（実家の親等）のための講座も開催し、霧島市での産前産後を支援します。

## 事業の成果

産前産後乗り切り講座のアンケートで、「産前産後への関心は高まりましたか」の問いに、35人中31人が「大変高まった」と回答。「高まった」の4人を含むと、全員の関心が高まったという良い結果が得られた。

このことから、本事業により対象が産後という見通しのつかないものに対して、興味と備えについて考える機会になったと考える。

## 自己評価

- 1 事業効果  
期待していた以上の効果が上がった。
- 2 改善すべき課題  
妊婦のうちから関わりがもてるよう、病院ともっと連携していけたらと思う。  
産後の方から妊娠中に知りたかったとの声が多かった。
- 3 予算執行  
多少の変更があった。
- 4 今後の展望  
妊婦のうちに教室参加ができるよう病院とも連携していきたい。  
教室の様子なども発信して、取り組みや参加者の声を伝えていきたい。
- 5 その他  
特になし。





#### マタニティサポートカフェとは

『お産を取り巻く状況が急激に変化する今だからこそ、職場や職種を超えた仲間を作りたい！』  
フラットな立場で語り合い、それぞれのできる範囲を理解し、想いを一緒にできたら鹿児島のお産環境は  
もっと良くなるはず。  
FB ページでの情報交換と、年2~4回程度、勉強会や異業種交流会を開催しています。

#### 団体情報

<団体名> マタニティサポートカフェ鹿児島

<代表者> 大村 祥恵

<設立日> 平成27年12月1日

<会員数> 5人

<主な活動>

2015年6月より、マタニティサポートカフェをスタート。妊産婦当事者・医療者・保育関係者などが同じテーマで勉強し、交流する企画を開催している。

全国で活躍する著名な講師陣にご協力いただきながら、回を重ねるごとに、草の根のネットワークづくりにつながっている。

<連絡先>

所在地 〒899-4322 霧島市国分福島3-24-15

TEL 090-9791-8051

# 成年後見等の知識を持ち、地域の見守りの要となる人材の養成事業

＜きりしま成年後見サポーターの会＞

事業費：879,000円 市補助金：500,000円

## 目的（背景・課題）

今後ますます問題となってくるであろう高齢化社会を迎えるにあたり、地域の高齢者の見守りの要となる人材の育成を目的に、成年後見制度の普及啓発を図る。

## 事業内容

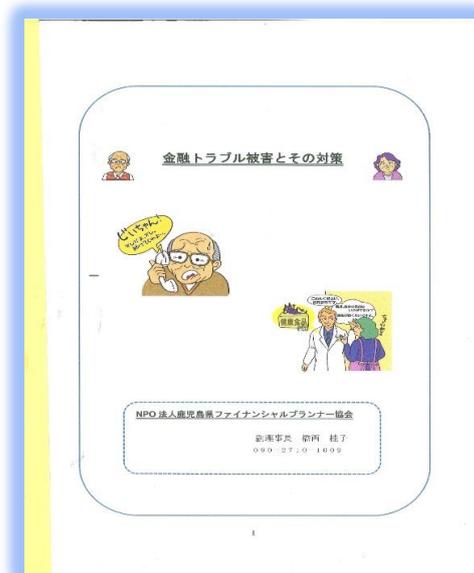
- ①「あなたとあなたの家族のための成年後見講座」の開催
  - ・市内6か所で開催（国分、霧島、隼人、溝辺、横川、福山）
  - ・公民館を会場にし、誰でも参加しやすいようにする。各会場定員15名
  - ・2回コースで、“成年後見”“認知症”“消費者被害対策”“実例を基に意見交換会”を実施。
- ②専門家と会員による成年後見相談会の開催
  - ・平成29年9月から毎月第1日曜日を“きりしまパープルリボンの日”として隼人富隈公民館で相談会を実施する。
  - 専門家相談員 1名 会員 5名

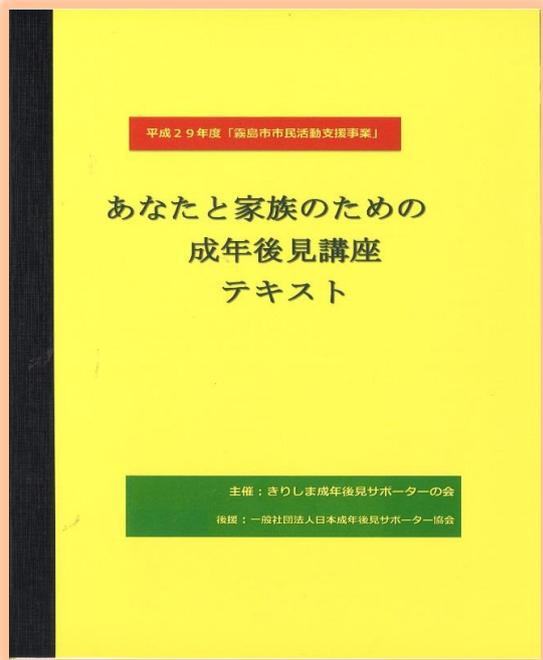
## 事業の成果

- ①当会の会員は、高齢者が多い。「市民後見人養成講座」を受講し、成年後見の知識を得た高齢者が地域の高齢者に教えることで、高齢者の生きがいがいづくりに繋がった。
- ②成年後見、認知症、消費被害対策などの実を守る知識を高齢者が身につけることで、徘徊、消費者被害などを事前に防ぐ手法が学べた。
- ③市民の市民による成年後見相談会の普及で、相談しやすい環境づくりの基礎ができた。→活用は次年度以降。
- ④市が開設した「成年後見センター」の協力員として人材活用が可能となり、連携の道が開けた。

## 自己評価

- 1 事業効果  
期待した効果が上がった。
- 2 改善すべき課題  
講座・相談会への参加者が予想より少なかった。  
広報の方法に工夫が必要と感じた。
- 3 予算執行  
多少の変更があった。  
台風の影響や天候の悪化で中止を余儀なくされた。
- 4 今後の展望  
より市民の身近な活動に徹し、多くの方々が関心を寄せる活動にしたい。
- 5 その他  
市社会福祉協議会や市長寿・障害福祉課との連携について、さらに検討や協議が必要と感じた。





平成29年度「霧島市市民活動支援事業」 霧島市共催

いつか判断能力がなくなったら……

あなたと家族のための  
成年後見講座  
—成年後見の基礎知識を学びましょう—

国分会場 7月 8日(土) 国分公民館 13時  
                  ~9日(日) (会議室)                   ~16時

講座内容

開始	1日目	講師	2日目	講師
13:00	訴訟法・親族法	司法書士	認知症の基礎知識	日本成年後見サポーター協会
14:00	成年後見の基礎知識	司法書士	消費者被害対策	日本成年後見サポーター協会
15:00	成年後見の基礎知識	司法書士	まとめと交流会	日本成年後見サポーター協会

主催：きりしま成年後見サポーターの会  
後援：一般社団法人日本成年後見サポーター協会

電話申し込み\* (事務局) きりしま成年後見サポーターの会  
TEL:090-1197-2923 (黒木)

【 FAX受講申込書 】  
FAX番号099-295-3678

氏名		年齢	
住所			
電話番号		FAX	

受講料 無料

(国境内住所が最速変更になる場合がございます。予めご了承ください)

**団 体 情 報**

<団体名> きりしま成年後見サポーターの会  
 <代表者> 黒木 順  
 <設立日> 平成28年12月22日  
 <会員数> 50人  
 <主な活動>  
 霧島市が実施した「市民後見人養成講座」を受講し、一般社団法人日本成年後見サポーター協会が実施した「成年後見サポーター認定試験」に合格した有志で、成年後見制度を広く霧島市に普及し、地域の見守りの要となるような人材を育成し、地域の高齢者を地域住民で支えあっていくことを目的に設立。  
 <連絡先>  
 所在地 〒899-4353 霧島市向花6-31-8  
 TEL 0995-45-2087

平成 29 年度  
霧島市市民活動支援事業成果報告書

平成 30 年 11 月

〒899-4394 霧島市国分中央三丁目 45 番 1 号  
霧島市役所 市民環境部 市民活動推進課

T E L 0995-64-0988 (直通)

F A X 0995-46-0566

E-mail [simi-katudo@city-kirishima.jp](mailto:simi-katudo@city-kirishima.jp)